伊勢山小学校　学びの足あと　2019−2020

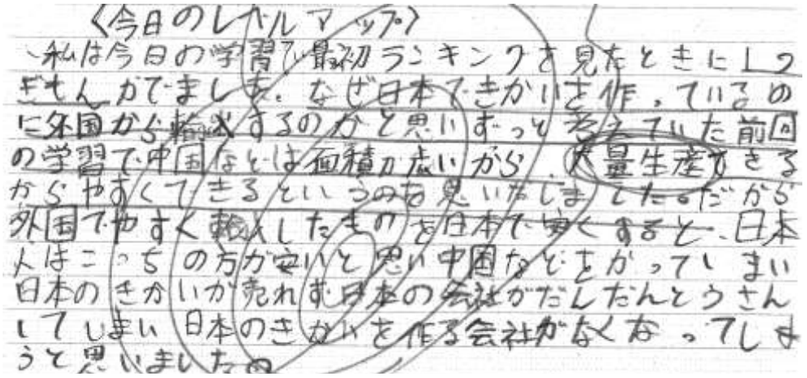
学力向上・社会的判断力の育成

異学年交流　１年生と６年生の交流
６年生は、相手意識と達成感、１年生は、あこがれと感謝の気もちをそれぞれもつことができます。→本校の全校参加の卒業式へつながります。

理科の実験のふりかえり　６年生　自分の予想したことをもとにして、その日に学んだ内容や考えたことなどをきちんと表すことができました。

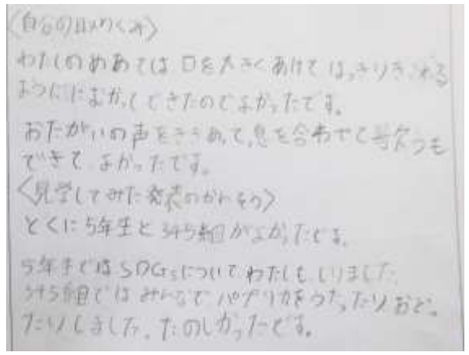
代表委員会　４年生から６年生までの各クラスの代表と委員会の委員長が出席をします。全校に関わることについて、各クラスで話し合ったきたことを出し合い、決定していきます。様々な立場から物事を考えたり、みんなにとってより良い方法は何かと考えたりすることができるようになりました。

社会科のふりかえり　５年　今日の授業で分かったことだけでなく、今までの学習や生活とのつながり、新たな疑問など、自分で考えたことを日々書いていきました。



体験学習へ向けて
４・５年生　それぞれのグループでの話合い

行事のふりかえり　３年生　めあてを明確にしたふりかえりを行いました。また、仲間や他学年を意識して記述することもできました。



高学年　自分達で疑問や課題を見つけ、すすんで学習を深めていったり、クラスや学年、学校の課題や問題について、みんなで考え、より良くしようと話し合おうとしたりすることができる時期です。子ども達の視野は、自分から、仲間、学校、地域へ広がり、様々な立場から物事を考えて自分たちなりに考えたことを実践することができます。

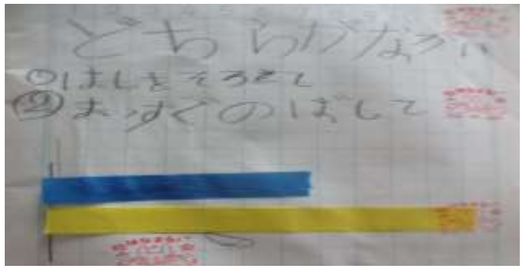
様々な立場から物事を考えて
４年生　総合的な学習の時間に車いす体験を行いました。実際に車いすに乗ったり、押したりすることで、ただ「大変そう」ではなく、どんな事が難しいのか、自分にできるのは何かを考えるきっかけになりました。

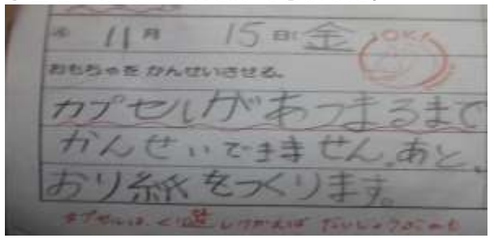
中学年　基礎基本的な力を身に付けていきながらも、友だちとたくさん話し合ってよりよいアイデアを出したり、もっと楽しい係活動にしたりするためにクラスの仲間で考えたりするなど、「仲間と協働して、よりよい社会をつくろうとする」ことを学ぶ時期です。また、それだけではなく、地域から飛び出して様々なものや人、仕事などにふれながら社会の仕組みや成り立ちについて知るなど社会への興味関心を深めさせる時期でもあります。

低学年　「読み・書き・計算」といった学習する上で必要な基礎基本的な力を身に付ける時期。　また、それだけではなく毎日学習を積み重ねる習慣や、基本的な文章の書きかた、授業の中での発表の仕方、話の聞き方、人との関わり方など、高学年で「自分で課題を解決」することや「考えや意見を表現」する「自分達でよりよくしよう」とするための「基礎的な学び力」をつける大切な時期です。

文章の書き方　１年生　学校探検の中で「その場所のことや様子を表すこと」を大切にしてふりかえりをしていきました。

算数　長さくらべ　個別支援級　図を用いて実際に書いたり・並べたりすることで実感をもたせて授業を行いました。



地域の方との関わり　アサガオリース作り

生活科「おもちゃづくり」　２年生　日々取り組んだことやできた事・困った事などを振り返らせることで、２年生なりに筋道を立てながら学習を進めていくことができました。